

4 多様な学習指導の 構想

(1) 多様な読み物資料を 生かした学習指導

指導のポイント

- 読み物資料を効果的に生かすには、登場人物への共感を中心とした展開にするだけでなく、その資料の特質に応じて、資料の提示の仕方や取扱いについて一層工夫が必要です。

具体的事例

① 登場人物への共感を中心とした展開

展開例：1-(1)生活習慣「父の一言」(彩の国の道徳『自分をみつめて』)

一事が万事みたいなことを言う父や、テニスに負けたのは日頃の振る舞いが原因と言う顧問に、反感を抱いた少年の心の変化をえがいた資料。



靴そろえとテストなんて
関係あるわけじゃないか。

おまえはいくら言っても
靴をそろえることができない。
だからテストでも…

父

自分も同じようなことを言
われて、言い返しちゃったこ
とがあるなあ。



顧問の先生は大事なことを
教えてくれたと思うよ。



共感

② 資料に対する感動を大事にする展開

展開例：3-(3)人間の気高さ 天使の声(彩の国の道徳『心の絆』)

東日本大震災時に、一人でも多くの命を救おうと任務を遂行し亡くなられた女性をえがいた資料。

多くの命を救った未希さんに
人間の気高さを感じます。



早く、早く、早く高台に逃げてください。
早く高台に逃げてください。
早く高台に逃げてください。...



感動

③ 迷いや葛藤を大切にした展開

展開例：4-(1)規則と義務「二通の手紙」(私たちの道徳)

特別な事情で訪れた2人の子供を、規則違反と知りながらも動物園に入園させた事務所の人をえがいた資料

ほくが元さんだったら、
同じことをした。
いいことをしたと思う。



迷い
葛藤

規則は考えてつくられている。だから守らないといけないと思う。



④ 知見や気づきを得ることを重視した展開

展開例：2-(1)礼儀「上級学校を訪ねて」(彩の国の道徳『自分をみつめて』)

電車内で大声でしゃべっている高校生、電話をかけている大人、イヤホンから漏れる音、優先席に座る青年、お化粧や品のない会話する女子高生、…きまりやマナーについて考える資料。



知見
気づき

「これくらい別にいいじゃないか」
「誰にも迷惑をかけなきゃいい」
という考えをもつことから迷惑が
始まっていると思う。



⑤ 批判的な見方を含めた展開

展開例：2-(3)信頼・友情 私たちの初詣(彩の国の道徳『自分をみつめて』)

あけおめメールに返信しない優子に、友だちじゃないと話す女子グループ。情報モラルを扱い、さらに友人関係を描く時事的な資料。



批判的な
見方

何かしら理由があったと思う。
友だちじゃないなんてひどいと思う。



留 意 点



Point

- その資料の特質に応じて、よりねらいに迫るために、どのように展開したらよいかを考えることが大切です。